

授業参観 13:30~13:50

第4回 飯田小学校運営協議会

令和8年2月5日

13:50~15:30

校長室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出 <出席した委員の互選>

4 前回会議録確認

5 熟議 <司会：議長、記録：CSディレクター>

(1) 学校関係者評価（「いじめ防止基本方針の取組状況・達成状況」を含む）

(2) 来年度の学校運営の基本方針の概要説明

(3) 学校運営協議会の自己評価

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

6 報告

7 連絡

(1) 次年度第1回 令和8年5月18日（月）13:30~15:30 会場：校長室

(2) 会長・副会長・学校支援コーディネーターの確認

(3) 次回の議長の選出

(4) 次回の熟議内容の確認

閉会

令和7年度 飯田小学校 学校評価報告書

I 令和7年度の本校の取組み

やさしい子

だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子

- ◎思いやりのある言動をすることができる。
 - ◇きれいな学校の3つの合言葉「きれいなあいさつ、きれいな言葉、きれいな心」の推進
 - ◇いじめの未然防止、早期発見と迅速な対応
- ◎ルールを守って学校生活を送ることができる。
 - ◇「飯田小1日の学校生活」の徹底
 - ◇生活のめあてでの振り返り

自分から学ぶ子

人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子

- ◎学習の基礎基本を身に付けることができる。
 - ◇「粘り強く考える子の約束」の徹底
 - ◇復習を定期的に行い、確実な定着を図る。
- ◎自分の考えをもち、伝えることができる。
 - ◇ICTの活用
 - ◇一人学びの時間の確保と深める学び合い
- ◎主体的に学ぶことができる。
 - ◇見通しがもてる単元構想の工夫
 - ◇将来に繋がる学びの設定（振り返りの充実）

たくましい子

たくましい心と体を持ち、進んでがんばる子

- ◎自分の目標に向かって運動に親しむことができる。
 - ◇自己記録の向上を目指す行事や活動の推進（新体力テスト、いいSPO! いいRUN! 等）
 - ◇運動の楽しさを味わえる体育科授業の充実
- ◎健康で安全な学校生活を送ることができる。
 - ◇自分で命を守る安全教育の実施（避難訓練防犯訓練等）
 - ◇病気やケガの予防に対する取り組み（保健行事、委員会を中心に考えた活動）

II 自己評価

肯定評価の割合

		質問内容	◎児童	○保護者	・教員
や さ し い 子	1	◎わたしは、きれいなあいさつを心掛けている。 ○お子さんが、あいさつをしっかりとできるよう支援している。 ・きれいなあいさつができるように支援している。	91.5%	96.8%	97.2%
	2	◎わたしは、きれいな言葉を心掛けている。 ○お子さんが、正しい言葉遣いができるよう支援している。 ・きれいな言葉が使えるように支援している。	87.4%	91.4%	94.4%
	3	◎わたしは、きれいな心(素直・思いやり)を心掛けている。 ○お子さんが、素直で思いやりの心をもって人と接することができるようになっている。 ・きれいな心(素直・思いやり)が育つように支援している。	91.9%	97.6%	97.2%
	4	◎わたしは、学校のルールを守って生活している。 ○お子さんが、学校のルールを守れるよう支援している。 ・学校のルールが守れるよう支援している。	90.9%	97.2%	97.2%
自 ら 学 ぶ 子	1	◎わたしは、授業を通してじっくり考え、「分かった」「できた」と感じている。 ○お子さんがじっくり家庭学習に取り組み、「できた」と感じるよう支援している。 ・学習の基礎基本を身に付けることができるよう支援している。	93.1%	86.9%	100.0%
	2	◎わたしは、授業で人の話を聴いたり、自分の意見や考えを伝えたりしている。 ○お子さんが、普段、人の話をしっかりと聴いたり、自分の思いを伝えたりできるよう支援している。 ・自分の考えをもち、伝えることができるよう工夫している。	89.0%	92.6%	94.4%
	3	◎わたしは、進んで授業に取り組み、学習を振り返り、自分の力が伸びたと感じている。 ○お子さんが、主体的に学ぶことができるよう支援している。 ・主体的に学ぶことができるよう工夫している。	90.9%	88.6%	88.9%
た く ま し い 子	1	◎わたしは、自分の目標に向かって運動を楽しむことができている。 ○お子さんが目標に向かって運動に親しむことができるよう支援している。 ・目標に向かって運動に親しむことができるよう支援している。	94.5%	90.2%	97.2%
	2	◎わたしは、健康(早寝・早起き・朝ごはん・手洗い・うがい・排便等)に気を付けて生活している。 ○お子さんが健康(早寝・早起き・朝ごはん、SNSやゲームの使用時間等)に気を付けて生活できるよう支援している。 ・健康な学校生活を送ることができるよう支援している。	89.9%	88.6%	97.2%
	3	◎わたしは、安全(廊下歩行、交通ルール、ネットやゲームの使用ルール等)に気を付けて生活している。 ○お子さんが安全(自転車の乗り方、交通ルール、SNSやゲームのマナー、防犯、防災時等)に気を付けて生活できるよう支援している。 ・安全な学校生活を送ることができるよう支援している。	94.5%	93.8%	94.4%
そ の 他	1	◎わたしは、夢をもって、できることに取り組んでいる。 ○お子さんが、夢や希望をもって生活が送れるよう支援している。 ・「夢にむかって、共に命をかがやかせる」よう支援している。	93.7%	93.6%	100.0%
	2	◎わたしは、飯田小学校へ通るのが楽しい。 ○飯田小学校は、誇れる(信頼できる)学校だと思う。 ・飯田小学校は、働く喜びのある学校だと思う。	94.5%	96.2%	94.4%

III 分析・考察

- ・自分から進んで元気な挨拶をすることができる児童が増えてきた。しかし、正しい(きれいな)言葉遣いができず、相手を傷つけてしまったり友達関係を崩してしまったりすることがある。
- ・授業ではじっくり考え、「分かった」「できた」と感じている児童は多いが、人の話を聴いたり自分の意見や考えを伝えたりすることができていない児童がいる。
- ・健康や安全についても気を付けようと意識している回答が多い。しかし、中には夜遅くまで起きていて生活のリズムを崩してしまったり、ふざけてけがをしてしまったりする児童がいる。
- ・学校へ通うのが楽しいと感じ、夢に向かってできることに取り組んでいる児童が多い。

IV 学校運営協議会における学校関係者評価

☆ 今後の改善方策

- ・いじめ基本方針については、HPの掲載の他にPTA総会、学校だより等で確実に保護者や地域に知らせる。
- ・子供たち自身に、きれいなあいさつやきれいな言葉を心掛けさせるうえで、生活委員会の活動のひとつとして「キラキラあいさつ賞の言葉遣いバージョン(ステキな言葉で賞)」のような取り組みを積極的に行う。
- ・保護者や地域の方に学校のことを理解していただくためにも、年度初めに各学年で「いいだいなほ応援団」に協力していただく内容を検討し、保護者や地域の方に来校していただく機会を増やしていく。



学校教育目標「夢に向かって 共に命をかがやかせる子」の育成に向けた 学校評価アンケート集約結果について

本校の学校評価は、7月と12月に、児童、保護者、教職員を対象に、学校教育目標のもと、観点を絞ってアンケートを実施しています。学校だよりには、児童、保護者のアンケート結果を掲載します。アンケート結果をもとに来年度の教育活動に取り組んでいきます。今後も飯田小学校の教育活動に御支援、御協力をよろしくお願ひいたします。

＜本校の目指す子供像と重点目標＞

やさしい子

自分から学ぶ子

たくましい子

だれにでも笑顔で接し、
やさしく思いやりのある子

人の話をよく聴き、
粘り強く考え、学び合う子

たくましい心と体をもち、
進んでがんばる子

＜アンケート項目及び「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合＞

		設問 (◎児童 ○保護者)	7月	12月
やさしい子	1	◎わたしは、きれいなあいさつを心がけている。 ○お子さんが、あいさつをしっかりできるよう支援している。	86. 4% 94. 6%	91. 5% 96. 8%
	2	◎わたしは、きれいな言葉を心がけている。 ○お子さんが、正しい言葉遣いができるよう支援している。	83. 4% 88. 8%	87. 4% 91. 4%
	3	◎わたしは、きれいな心（素直・思いやり）を心がけている。 ○お子さんが、素直で思いやりの心をもって人と接することができるよう支援している。	90. 1% 96. 4%	91. 9% 97. 6%
	4	◎わたしは、学校のルールを守って生活している。 ○お子さんが、学校のルールを守れるよう支援している。	90. 6% 97. 8%	90. 9% 97. 2%
自分から学ぶ子	5	◎わたしは、授業を通してじっくり考え、「分かった」「できた」と感じている。 ○お子さんが、じっくり家庭学習に取り組み、「できた」と感じるよう支援している。	91. 6% 83. 2%	93. 1% 86. 9%
	6	◎わたしは、授業で人の話を聴いたり、自分の意見や考えを伝えたりしている。 ○お子さんが、普段、人の話をしっかり聴いたり、自分の思いを伝えたりできるよう支援している。	88. 7% 91. 4%	89. 0% 92. 6%
	7	◎わたしは、進んで授業に取り組み、学習を振り返り、自分の力が伸びたと感じている。 ○お子さんが、主体的に学ぶことができるよう支援している。	88. 1% 87. 8%	90. 9% 88. 6%
たくましい子	8	◎わたしは、自分の目標に向かって運動を楽しむことができている。 ○お子さんが目標に向かって運動に親しむことができるよう支援している。	92. 2% 88. 0%	94. 5% 90. 2%
	9	◎わたしは、健康（早寝・早起き・朝ごはん、手洗い・うがい・排便等）に気を付けて生活している。 ○お子さんが、健康（早寝・早起き・朝ごはん、SNSやゲームの使用時間等）に気を付けて生活できるよう支援している。	88. 0% 88. 4%	89. 9% 88. 6%
その他	10	◎わたしは、安全（廊下歩行、交通ルール、ネットやゲームの使用ルール等）に気を付けて生活している。 ○お子さんが、安全（自転車の乗り方、交通ルール、SNSやゲームのマナー、防犯、災害時等）に気を付けて生活できるよう支援している。	94. 5% 93. 8%	94. 5% 93. 8%
	11	◎わたしは、夢をもって、できることに取り組んでいる。 ○お子さんが、夢や希望をもって生活が送れるよう支援している。	93. 1% 91. 6%	93. 7% 93. 6%
	12	◎わたしは、飯田小学校へ通うのが楽しい。 ○飯田小学校は、誇れる（信頼できる）学校だと思う。	91. 8% 96. 4%	94. 5% 96. 2%

1 「やさしい子」について<設問1～4>

「だれにでも笑顔で接し、やさしく思いやりのある子」を目指すこの設問では、全体的に数値が向上しており、意識の改善が見られます。保護者の支援意識も非常に高く、特に「素直で思いやりの心をもって人と接すること」への支援は高い数値となり、家庭での温かな見守りが伺えます。児童の言葉遣いについては改善傾向にあります、来年度も、きれいな学校3つの合言葉「きれいなあいさつ、きれいな言葉、きれいな心」を推進し、ルールを守って互いに笑顔で穏やかに接する子供が増えるように、子供たちの支援に取り組んでいきたいと考えています。

2 「自分から学ぶ子」について<設問5～7>

「人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子」を目指す設問では、学習に対する肯定感と主体性が高まっています。「授業を通して「わかった」「できた」と感じている」児童や「自分の力が伸びたと感じている」児童が増え、学習への振り返りや主体的な取り組みが定着してきていますが分かります。

授業での聴く伝える項目の伸びが低いので、来年度は、さらに「温かい聴き方・やさしい話し方」の方法を確認したり、自分の考えを伝え合えるように、ICTを利用した学習の方法や課題解決のための場の設定を工夫したりして学習を進めていきたいと考えています。

3 「たくましい子」について<設問8～10>

「たくましい心と体をもち、進んでがんばる子」を目指す設問では、運動や安全に対する意識が非常に高い結果が出ました。一方で、健康に関しての項目では、児童・保護者とも基本的な生活習慣の早寝・早起き・朝ごはん、手洗い、うがい等での意識の改善は見られますが、3項目の中では低い結果です。来年度も引き続き、豊かなスポーツライフ実現に向けた取り組みはもちろん、健康、安全に留意していきたいと考えています。

4 「その他」について<設問11～12>

夢をもって、できることに取り組んでいる児童が多いことは、学校教育目標「夢に向かって共に命をかがやかせる子」の育成が着実に進んでいることが分かります。また、「夢や希望をもって生活が送れるように支援している」という保護者が多いことから、家庭での精神的な支えがあることも分かります。

これからも、「児童が楽しく通える学校」「保護者が誇れる学校」を目指していきたいと思います。

5 自由記述について

学校行事や、登下校の荷物、自転車の乗り方やヘルメットの着用等についていただいた御意見を真摯に受け止め、今後の指導に生かしてまいります。また、担任の日々の対応や、熱い思いに対する多数の応援メッセージもいただきました。感謝申し上げます。

日頃の学校生活や活動の様子などは飯田小学校のHP（ブログ）で掲載しています。ぜひ御覧ください。

URLとQRコードを掲載します。ぜひ、御覧ください。

飯田小 HP URL : <https://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/iida-e/>

令和8年度の年間行事予定は、飯田小ホームページに2月中に掲載する予定です。

※あくまでも予定ですので、変更は考えられます。詳細は、毎月の行事予定・下校予定で御確認ください。



生徒指導対応について

いじめは命に関わる重大な問題であり、どんな理由でも許されない行為です。本校では、子供の立場に立って状況をとらえ、校内いじめ対策委員会で情報を共有しながら、早期発見と対応に努めています。また、日頃から人と人が温かくつながる関係づくりを進め、いじめをしない・させない・見逃さない学校を目指しています。

～令和7年度 浜松市立飯田小学校いじめ防止基本方針ダイジェスト版より～

【いじめの未然防止策】

安全で安心できる教室づくりを軸に、校内まなびの教室「キラホ」や落ち着かないときや話を聞くための部屋「いるむ」等を活用し、子供たちが安心できる環境を整えています。

さらに、学期に1回、いじめアンケートを行い、困りごとの有無にかかわらず、全員に話を聞く時間をもちながら、心の変化を丁寧に受け止めています。

ケースによっては保護者連絡をし、家庭と連携して子供一人ひとりが安心して過ごせることを目指しています。

【いじめの早期発見・対応】

日常の会話や個人面談、アンケート結果などから、小さな変化も見逃さないように心掛けています。いじめの疑いがある場合は、速やかに安全を確保し、校内いじめ対策委員会を中心に複数の大人で対応します。必要に応じて専門機関とも連携し、子供の心のケアを大切にしています。

【家庭・地域との連携】

地域の人たちが子供に関わり、家庭・学校と力を合わせて相談しやすい環境をつくっています。家庭でもルールやマナーを伝え、子供の小さな変化に気付いて学校と協力しながら支えていきます。

【現在の状況】

本校では、教員が相談を一人で抱え込まずに連携しながら対応してきたことで、重大事態に至ったケースはありません。今後も、未然防止策をとりながら、温かい学校づくりを進めていきます。

令和8年度 浜松市立飯田小学校 グランドデザイン

国の教育振興基本計画から
○2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
○日本社会に根差したウェルビーイングの向上

新学習指導要領から
○育成を目指す資質・能力の三つの柱
○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
○「令和の日本型学校教育」
個別最適な学びと協働的な学びの実現

第4次浜松市教育総合計画から
【基本理念】描く夢や未来の実現
【目指す子どもの姿】
○自分らしさを大切にすること
○他者と協働し、主体的に行動できるこども
○自己調整しながら、粘り強く取り組むこども

校訓 真誠

素直で誠実に生き、どこまでも真実を追い求める子

学校教育目標

夢に向かって 共に命をかがやかせる子

目指す子供像

重点目標

経営の基盤

感性

知性

心身

やさしい子

だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子

- ◎思いやりのある言動をすることができる。
 - ◇きれいな学校3つの合言葉「きれいなあいさつ、きれいな言葉、きれいな心」の推進
 - ◇いじめの未然防止、早期発見と迅速な対応
 - ◎ルールを守って学校生活を送ることができる。
 - ◇「飯田小1日の学校生活」の徹底
 - ◇生活のめあてでの振り返り

自分から学ぶ子

人の話をよく聞き、粘り強く考え、学び合う子

- ◎学習の基礎基本を身に付けることができる。
 - ◇「粘り強く考える子の約束」の定着（温かい聞き方、やさしい話し方の確認）
 - ◇定期的な復習の実施
- ◎自分の考えをもち、伝えることができる。
 - ◇ICTの活用
 - ◇課題解決のための場の設定
- ◎主体的に学ぶことができる。
 - ◇見通しがもてる単元構想の工夫
 - ◇振り返りの視点の提示（将来に繋がる学びの設定）

たくましい子

たくましい心と体を持ち進んでがんばる子

- ◎自分の目標に向かって運動に親しむことができる。
 - ◇運動の楽しさを味わえる体育科授業の充実
 - ◇自己記録の向上を目指す行事や活動の推進（新体力テスト、いいSPO!、いいRUN!等）
- ◎健康で安全な学校生活を送ることができる。
 - ◇自分で命を守る安全教育の実施（避難訓練、防犯訓練等）
 - ◇病気やケガの予防に対する取り組み（保健行事、委員会を中心とした活動）

全ての教育活動を通して、キャリア教育をベースに、夢を育む活動を推進する。
「友達と関わる力」「自分を見つめる力」「問題を解決する力」「夢に向かう力」

- ◎学校経営目標
- ◎目指す学校像

「ていねい・あったか・安心」～すべては子供たちの笑顔のために～

- 子供が楽しく通える学校

○保護者や地域が誇れる（信頼できる）学校

○教職員が働く喜びのある学校

- 子供の多様性を感じ取り、全ての子供に惜しみない愛情を注げる教職員

○人間味あふれ、子供や同僚、保護者・地域と良好な人間関係を築き、信頼される教職員

- 子供と共に学び続け、専門職として魅力のある授業を実践する教職員

社会に開かれた教育課程・家庭地域との協働

飯田小学校PTA

学校運営協議会(CS)
『いいだいなほ応援団』

東部中学校区目指す子供像
「自分の夢や目標に挑戦し続ける。」

令和8年度 学校経営構想

浜松市立飯田小学校

《はじめに》

これから子供たちが生きていく未来は、予測困難な時代であり、V U C A（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代とも呼ばれています。学校では、そのような予測困難な社会の変化（少子高齢化、人口減少、グローバル化の進展、情報化・技術革新、Society5.0等）の中で、生きていくために必要な力を育むことが求められています。国、市の方針を受け、飯田小学校の子供たちの実態から考え、本校の学校経営方針を以下に示します。

1 新しい時代に求められる資質・能力とは

(1) 国の教育振興基本計画から

①「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」

一人一人が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き「持続可能な社会の創り手」になることを目指す。

②「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

多様な個人それが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなること。

要素としては「幸福感」「学区や地域でのつながり」「協調性」「多様性の理解」「サポートを受けられる環境」「社会貢献度」「自己肯定感」「自己実現」「心身の健康」「安心・安全な環境」等が挙げられる。

(2) 新学習指導要領から

①育成を目指す資質・能力の三つの柱

ア 「何を理解しているか、何ができるか」（知識・技能）

イ 「理解していること・できることをどう使うか」
(思考力・判断力・表現力等)

ウ 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」
(学びに向かう力・人間性等)

②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

○主体的な学び…学ぶことへの興味関心をもち、見通しをもって取り組み、
学習活動を振り返って次へつなげる学び

○対話的な学び…協働や対話を通じて自己の考えを広げ深める学び

○深い学び………習得・活用・探求のプロセスの中で、知識を関連付けて深く理解することや、情報を精査して考えを形成すること、問題の発見と解決、思いや考えを基に創造することに向かう学び。深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要である。

③「令和の日本型学校教育」

誰一人取り残さず、全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学びと協働的な学びの実現」としている。

○個別最適な学び…支援を要する子供への重点的な指導や個々の特性に応じた指導方法・教材等を提供・設定する「指導の個別化」と、各自の興味関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動・学習課題に取り組む機会の提供という「学習の個性化」の2つの視点から捉えることができる「個に応じた指導」を学習者の視点から整理したもの。

(3) 浜松の目指す教育（第4次浜松市教育総合計画から）

令和7年度から令和16年度まで

【基本理念】 描く夢や未来の実現

コンセプト：「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」

【目指す子どもの姿】

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動できる子ども
- 自己調整しながら、粘り強く取り組む子ども

【3つ方針と5つの政策】(その下に25の施策)

I 自分や浜松の未来を創る人づくり

- ①未来の創り手に求められる力の育成
- ②多様なニーズに対応した学びや支援の充実

II 安全・安心で魅力のある環境づくり

- ③「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上
- ④安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

III こどもの学びや育ちを支える連携・協働

- ⑤多様な人材・主体との連携・協働

【目指す教職員の姿】

- 子どもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

(4) 「今と将来をつなぐ」「自分と社会をつなぐ」キャリア教育の推進

○「4つの育てたい態度・能力」を押さえた指導

育てたい態度・能力 (基礎的・汎用的能力)	育てたい力の具体的な要素の例 (文部科学省 手引きより)
友だち （人間関係形成・社会形成能力）	他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ。
じぶん （自己理解・自己管理能力）	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動

友だち

じぶん

かいけつ	問題を解決する力 (課題対応能力)	情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善
ゆめ	夢に向かう力 (キャリアプランニング能力)	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善

2 学校経営方針

(1) 校訓 「真誠」(素直で誠実に生き、どこまでも真実を追い求める子)

(2) 学校教育目標

夢に向かって 共に命をかがやかせる子

飯田小学校では、本校の卒業生であり、国産旅客機第一号を製作した福長浅雄氏の生き方をモデルにした「夢を育む活動」を平成9年度より行ってきた。以来、飯田小の子供たちは、夢や希望を持ち、その実現に向かって努力することの素晴らしさを理解し、実践するようになっている。

「夢に向かって命をかがやかせる」とは、近い将来・遠い将来に、なりたい自分を思い描き、将来につながる今現在の自分を見つめ、将来の自分を実現するために今なすべきことを、こつこつと実践し積み重ねることである。

加えて、「共に」とは、自分の成長に関わったすべての人に感謝の気持ちをもつことや、自分と違う友達の考え方や感じ方を大切にし、相手はどう思っているのかなと思いやること、自分の周りにいる友達の良さを見つけ認めてることで、「友達の命もかがやかせる」ことにつながるとも考える。

(3) 飯田小学校児童の実態

※教職員、学校運営協議会の昨年度のSWOT分析より

○やさしい子【感性】

- ・全体に素直で前向きである。友達と仲良く遊ぶことができる子が多い。
- ・進んで友達や地域の方に挨拶をしたり、挨拶を返したりすることに苦手意識を持つ子が多い。
- ・自分の思いを伝えること、正しい言葉遣いで話すことに課題がある。
- ・協力したり、思いやりのある行動ができたりする子が増えってきた。

○自分から学ぶ子【知性】

- ・自分の仕事や役割で責任を果たすことができるが、主体性に欠け、指示待ちの子が多い。
- ・自ら課題を見付け、自分で解決しようとする力が十分でない。
- ・人の話を最後まで正しい姿勢で聞くことが苦手である。
- ・忘れ物が多い。

○たくましい子【心身】

- ・夢や希望を持ち、その実現に向かって努力することの素晴らしさを理解し、実践するようになってきている。
- ・校内で安全に過ごす等の規範意識が薄い。

(4) 飯田小学校を取り巻く地域の特性

学区は、市の南東部に位置し、東西に飯田街道、南北に国道1号線が走り、通勤時間帯には、車両の大渋滞が発生し、それらを回避するため、隣接する生活道路や通学路にも多くの車両が行き来する。令和5年には、市による「ゾーン30プラス」の推進地域に認定され、市内初となるスムーズ横断歩道が設置される等、地域住民による交通安全意識が高まっている。

国道1号線の東側には、中央卸売市場や飯田公園がある。西側には、住宅密集地が目立つようになってきた。古くから田園地帯として発展してきた地域であるが、近年は学区西側に住宅地が増え、人口の流入がみられる。

保護者及び地域住民の学校教育に対する期待は大きく、学校に対しても協力的である。PTA活動の中心に米作りがあり、年間を通して学校、家庭、地域が一体となって子供を育てて行こうとする機運がみられる。

(5) 目指す子供像

豊かな感性と知性、たくましい心と体を持ち合わせた調和のとれた子供を育んでいくこととする。

○やさしい子【感性】 だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子

○自分から学ぶ子【知性】 人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子

○たくましい子【心身】 たくましい心と体を持ち、進んでがんばる子

(6) 学校経営の重点及びその具体的方策

※全ての教育活動を通して、キャリア教育をベースに、夢を育む活動を推進する。

※子供が「目標を持って」「意味や価値を意識して」活動に取り組む。

※自己の取り組みを振り返り、成果を自覚する。（アンケートの評価項目を吟味）

◆やさしい子【感性】 だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子

重点目標	具体的方策（何を、どうする等）
○思いやりのある言動をすることができる。	・きれいな学校3つの合言葉「きれいなあいさつ、きれいな言葉、きれいな心」の推進 ・いじめの未然防止、早期発見と迅速な対応
○ルールを守って学校生活を送ることができる。	・「飯田小1日の学校生活」の徹底 ・生活のめあてでの振り返り

○コミュニケーション能力の基本を育てる

- ・きらきらあいさつ賞での称揚、優しい言葉遣いの具体的な紹介、マナーの日の活用等
- ・思いを言葉で表現する指導（「やはた行動」の定着）
- ・あいさつのよさや意義を学級で話し合う。

○あらゆる他者を価値ある存在と気づかせる。温かな人間関係づくり。

- ・場に応じた言葉遣い（友達の良さを認める 多様性 包摂性）
- ・道徳教育の充実

- 清掃活動における黙働を意識する。
- 自分で考えて行動できる。（自己肯定感を高める 達成感 自己有用感）
- 子供の居場所づくり（キラホ、いるむ）

◆自分から学ぶ子【知性】 人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子

重点目標 (子供が主語の文章表記)	具体的方策(何を、どうする等)
◎学習の基礎基本を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「粘り強く考える子の約束」の定着 (温かい聞き方、やさしい話し方の確認) ・定期的な復習の実施
◎自分の考えをもち、伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用 ・課題解決のための場の設定
◎主体的に学ぶことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しがもてる単元構想の工夫 ・振り返りの視点の提示（将来に繋がる学びの設定）

- 様々な人とのかかわりを（交流）
 - ・地域人材を活用した、協働的な学び
- 子供が夢中になる授業
 - ・粘り強く考え、学びを深める子供の育成に向けた授業改善
- 個別最適な学びと協働的な学びの実現
 - ・一人学びの時間の確保と深める学び合い
- 家庭学習の良さを実感させる
- 中学年からの教科担任制の導入（できる範囲で）

◆たくましい子【心身】 たくましい心と体を持ち、進んでがんばる子

重点目標 (子供が主語の文章表記)	具体的方策(何を、どうする等)
◎自分の目標に向かって運動に親しむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わえる体育科授業の充実 ・自己記録の向上を目指す行事や活動の推進（新体力テスト、いいSP0！、いいRUN！等）
◎健康で安全な学校生活を送ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で命を守る安全教育の実施 (避難訓練、防犯訓練等) ・病気やケガの予防に対する取り組み (保健行事・委員会を中心に考えた活動)

- 交通事故〇をめざす。
- 校内事故件数を減らす。
- 豊かなスポーツライフ実現に向けた取り組み
- 健康（早寝・早起き・朝ごはん、SNSやゲームの使用時間等）安全（廊下歩行、交通ルール、SNSやゲームの使用マナー等）に気を付けさせる。

3 経営の基盤

(1) 学校経営目標 「ていねい・あったか・安心」
～すべては子供たちの笑顔のために～

(2) 目指す学校像

- ☆子供が楽しく通える学校
 - ・楽しくわかる授業
(個別最適な学び、協働的な学びに向けたていねいな見取り)
※タブレットの活用
 - ・すべての子供が認められる学級（所属感のもてるあたたかい学級）
※キラホ（校内まなびの教室）、いるむ、いるむ2等の教室の積極的な活用
 - ・いじめ見逃しのない教室（安心できる学級）
※「飯田小さいじめ防止基本方針」を推進〈重大事態にさせない〉
- ☆保護者や地域が誇れる（信頼できる）学校
 - ・スピード感のあるニーズに応じた対応（相談にはていねいに対応）
 - ・協働して作り上げる学校（人づくりにあたたかく支援）
※地域や保護者が学校運営に参画するコミュニティ・スクールを推進
 - ・子供のことを一番に考えた危機管理（安心できる対応）
※夏季の熱中症対策（帽子での登校 6月～9月）
- ☆教職員が働く喜びのある学校
 - ・ボトムアップで働き方改革（子供をていねいに見取れる時間を作り出す）
※教職員の時間外在校時間を月30時間以内（年間360時間以内）
 - ・心理的安全性を向上させ、チームで対応（相談しやすいあたたかな職場）
 - ・達成感、自己有用感のもてる役割（認めてもらえる安心できる職場）

(3) 目指す教職員像

- 子供の多様性を感じ取り、全ての子供に惜しみない愛情を注げる教職員
 - ・子供理解 ・子供の可能性を引き出す
- 人間味あふれ、子供や同僚、保護者・地域と良好な人間関係を築き、信頼される教職員
 - ・責任を果たす ・規範意識 ・とことん寄り添う
- 子供と共に学び続け、専門職として魅力のある授業を実践する教職員
 - ・ファシリテーション力 ・子供を飽きさせない ・主体性 ・情熱

4 令和8年度学校経営上の具体的課題

(1) 家庭・地域との協働

- コミュニティ・スクールの推進と活用
 - ・授業をはじめ様々な教育活動に地域の人材、教育力を一層活用する。
 - ・情報を公開し、家庭・地域と成果や課題を共有する。社会に開かれた教育課程

【いいだいなほ応援団】

〈学習サポート〉家庭科ミシン補助、図工、書写、生活、算数（検定）

〈安全サポート〉校外学習引率、水泳観察員

〈米作りサポート〉PTAと協力して行う「田植え」「稻刈り」「餅つき」等

(2) 全ての教育活動を通して、キャリア教育をベースに、夢を育む活動の推進。

○本校でつけたい基礎的・汎用的能力の育成の周知（つながりを実感）

○キャリア教育の年間計画に載せている行事のねらいの明示や学習での取り組み（学年掲示）

○RVPDCAサイクルで評価していく。

(3) 教育の情報化に向けて校内体制づくりと環境整備の推進

○教育データの利活用

○教育DX推進（chromebookを積極的に活用、研修会参加等）

○持ち帰り（家庭学習、予定も含めて検討）

○「置き勉」スペースの確保（持ち帰りの荷物の軽減）

(4) 発達支援教育の充実

○一人一人を大切に、発達支援コーディネータを中心に、全職員が協力して支援が必要な子供の指導を計画的、組織的、継続的に行っていく。

○不登校児の増加等に伴い、外部機関との連携及びケース会議を通して、保護者の立場に立って、的確な支援が出来るようにしていく。

○発達支援教室（すくすく）の効果的活用

(5) 人材育成の方策

○学年会の充実

・学年経営の方法や手法を学んでいく場にする。

・日々の様子の振り返り、教材研究、評価の補助簿等のつけ方指導等

・学年で行う活動で、責任ある仕事を分担し組織力をアップする。まかせっきりにせず、事前事後の確認をする。（達成感、自己有用感を）

○（学年）研修の充実

・単元構想及び授業力等を培う。

・年に数回、メンター制のミニ講話（ミニ教師塾、有志の参加）を企画する。

○生徒指導力（子供とかかわる力）の育成

・生きたOJT。学年主任や生徒指導主任と一緒に

…児童への聞き取り方、記録、声の掛け方、保護者への連絡を学ぶ
保護者への対応方法や連絡のタイミングをコーチング

(様式1)

学校番号 (小・中 32)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（飯田小）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・コロナ後、まずは地域の大人たちから明るい笑顔、元気な挨拶を行い、子供たちにとって、地域に知っている顔がたくさんあること、安心して生活できることを定着させたい。
- ・実際にどのような活動ができるのか、具体的な内容や役割等考えるところまで進めていきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・学校運営の基本方針の説明を受け、重点目標の「きれいな学校3つの合言葉」やICTの活用等について、委員それぞれの考えを出し合い、学校の取り組もうとしている内容について理解を深めることができた。
- ・学校評価の項目についても意見を出し合い、改善点を熟議することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・挨拶や言葉遣い、家庭学習等の課題や改善点について話し合い、学校・家庭・地域の関わりや支援について熟議することができた。
- ・今年度は、以前から熟議で挙がっていたCSによる「いいだいなほ応援団」の活動をスタートすることができた。米作り、校外学習の引率、図工科のこぎり、家庭科のミシン、算数科の九九等、多くの保護者に支援していただき、教育活動の充実につながった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ・今年度からCSだよりの発行を開始し、保護者や地域へ学校運営協議会や支援活動の様子について情報発信することができた。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・学校運営の基本方針や重点目標、支援策等について、課題や改善点を出し合い、学校・家庭・地域が連携して取り組むことができる活動や支援について熟議を進める。